

【記入例】

基礎年金番号確認のお願い（回答票）

◆この書類は、基礎年金番号を複数交付することを防ぐため、すでに基礎年金番号をお持ちの可能性がある方にお送りしています。次の質問にお答えいただき、年金事務所までご返送ください。

整理番号	氏名欄 以下のとおり回答します。 令和 年 月 日 お名前 年金 花子 電話番号 00 (0000) 0000
事業所整理記号	

上記番号は、事務処理のために使用する番号です。

【ご注意ください】本状をご返送いただけない場合、年金加入記録が分かれてしまい、将来受け取る年金が正しく計算されないなどお客様にとって不利益となることがあります。

質問1 「年金手帳」、「基礎年金番号通知書」または「年金証書」をお持ちですか。

はい → 基礎年金番号をご記入ください。
いいえ →

質問2 転居したことがある場合、現住所の前の住所をご記入ください。
(わかる範囲でご記入ください)
・東京都杉並区高井戸〇-△-×
・東京都調布市調布ヶ丘〇-〇-× (右下余白に続く)

質問3 以下の記録でご自身の年金記録と思われる場合には、①欄に○印を記入のうえ、⑤、⑥欄に具体的な内容をご記入ください。ご自身の年金記録ではない場合は、確認欄へお進みください。
(下記に記録の印刷がない場合は、以上で終了です。)

①ご自身の加入記録に○印をご記入ください。	②加入制度	③年金制度に加入した年月日	④年金制度を脱退した年月日	⑤厚年・共済の場合 お勤め先の名称、事業所所在地	⑥国年の場合 その当時の住所
☐	厚年	00.00.00	00.00.00	(名称) 〇〇建築 株式会社 (所在地) 東京都三鷹市下連雀〇-×-×	
☐	国年	00.00.00	00.00.00	(名称) (所在地)	東京都杉並区高井戸〇-△-□

※加入記録が多数ある場合には、加入年月日が新しいものから2つまでを記載しています。

国年・・・国民年金 共済・・・共済組合等	厚年・・・厚生年金保険 ***・・・記録なし
-------------------------	---------------------------

確認欄 質問3でご確認いただいた上記の年金記録が、ご自身の記録でないときは、右の□に☒をしてください。

☐ 私の記録ではありません。

ご協力ありがとうございました。

〒181-0013
東京都三鷹市下連雀99-99-99
年金 花子 様

年金事務所
受付印

(質問2の回答続き)
・東京都新宿区新宿〇-△-× ○〇ハイツ△号
・大阪府大阪市中央区□□町△-●-×
○〇アパート□号

電話番号は平日の日中に連絡を取りやすい番号(携帯電話など)をご記入ください。

基礎年金番号(および「記号・番号」)※を記入してください。ただし、基礎年金番号の上4桁が990Xで始まっている場合は、その番号を記入せずに、質問2へお進みください。

※基礎年金番号は10桁の数字で表された番号で、「年金手帳」、「基礎年金番号通知書」等で確認できます。記載位置については、「基礎年金番号確認のお願い(回答票)」の裏面をご覧ください。
なお、表紙がオレンジ色の「年金手帳」の場合は、「記号・番号」が記載されていますので、「記号・番号」を全て記入してください。

現住所の1つ前の住所からわかる範囲ですべてご記入ください。
複数回転居していて、枠内に書ききれない場合は、この回答票の右下余白にご記入ください。

②～④欄にお客様のものと思われる年金記録を表示しています。
表示されている記録を十分ご確認のうえ、ご記入ください。
※加入記録がない場合は、②に「**」と表示しています。

【ご自身の記録であるとき】

①欄に○印をご記入のうえ、⑤または、⑥欄をご記入ください。

・②「加入制度」が「厚年」、「共済」のとき
⇒⑤にお勤め先の名称、及び事業所の所在地をご記入ください。
なお、「加入制度」が「共済」である場合には、共済組合に確認を行います。
このため、できる限り詳細に記載ください。
また、確認に期間を要する可能性があります。あらかじめご了承ください。

・②「加入制度」が「船保」のとき
⇒「船保」とは、船員保険のことです。
「船保」のときは、⑤に当時雇用されていた船舶所有者の氏名(名称)と所在地をご記入ください。

・②「加入制度」が「国年」のとき
⇒⑥にその当時の住所をご記入ください。

【ご自身の記録でないとき】

確認欄の右欄に☒をしてください。
なお、お客様と「氏名・生年月日・性別」が同じ年金記録がある場合に、本調査を行っているため、お客様の年金記録でない場合があります。